主要事業の決定(議会提案)状況 (一般会計)

(一般会計)	哦女! ()	-DCDG						7		• • •	・新規事業
事業名	要求額	要求	事 業	の	概	要	決 定 状 況 (議会提案)	決定	(議会提案)	における論点	点、意見等
総務費											
防犯灯設置費助成事業 (防犯灯設置費補助 金)	千円 1,450	各行政区が行 部を補助する。					千円 実施 1,200		を精査し平成 2	2 4 年度並みに	減額
交通安全の啓発・広報事業 (●飲酒運転ゼロ市 民大会)	163	市民大会」(仮	二対して飲酒ごを訴えかけ云称)を開催3千円・消息	i運転の る「飲? する。 毛品費	悪質性や 酒運転	P危険 「ゼロ」 10千円	実施 158	消耗占	品費を精査し減	或額	
財産管理事業 (●PCB廃棄物処 理運搬委託)	19, 436	庁舎敷地内の たポリ塩化ビフ 器に使用)を平 要があることか ・PCB廃棄物	7ェニル廃棄 Z成25年度 Aら、今回ま	物(蛍 中に適 とめて ⁵	光灯など	での安定 分する必 示う。	実施	特にた	r L		

事業名	要求額		決定状況(議会提案)	決定(議会提案)における論点、意見等
● 第5次総合計画後期 基本計画策定事業	千円 1,352	第5次伊万里市総合計画前期基本計画が、平成25年度をもって計画期間満了を迎えるため、平成26年度以降の5年間における市政運営の指針となる後期基本計画を策定する。 ・委員報酬 408千円・報償費 606千円・費用弁償 206千円・消耗品費 45千円・食糧費 12千円・委託料 75千円	千円 実施 1,320	費用弁償を精査し減額するとともに、通信運 搬費を新たに増額
● 甲子園プロジェクト 支援事業	79	全国の注目を集める甲子園出場をテーマに、各種団体機関等との連携による取組みを展開し、地域の連帯感を醸成するとともに、交流人口を拡大し、地域の消費を誘発するなど地域のさらなる振興を図るため、組織の立ち上げ及び事業の事前協議等を行う。 ・報償費 50千円 ・旅費 18千円・食糧費 6千円 ・使用料 5千円	実施	特になし
● 井手口川ダム周辺施 設管理事業	1, 706	平成23年度に井手口川ダムが完成し、現在、 周辺の公園整備が進められているが、今後、完成 した公園のB、D、Eゾーンの管理を市が行う。 ・光熱水費 212千円 ・手数料 172千円 ・委託料等 1,322千円	実施 1,610	光熱水費、手数料等を精査し減額

事業名	要求額	安 水 争 未 の 城 安 (議会	云挺条厂	ま定(議会提案)における論点、意見等
路線バス運行事業	千円 22, 971	高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスの運行を行う。 ○いまりんバス運行業務委託料 ・市街地線運行業務委託料 4,447千円	手円 実施 2,891 市	街地線運行業務委託料を精査し減額
公共交通支援事業 (松浦鉄道施設整備 事業費補助金)	11, 357	第三セクターである松浦鉄道株式会社の円滑な事業運営のため、車両更新や設備更新等の経営強化に対し支援を行う。 ・施設整備事業費補助金 11,357千円 (車両更新などの鉄道近代化や老朽施設の整備に対する沿線自治体の補助) ・期間 平成18~25年度(8か年) ・合計額 169,565千円	実施 特	になし

事業名	要求額		決定状況(議会提案)	決定(議会提案)における論点、意見等
地籍調査事業	千円	 ○事業内容 ・平成25年度調査区 4.72km² 黒川町黒塩の一部、福田の一部、波多津町煤屋の一部、内野の一部ー筆地調査、地籍図根測量、地籍細部測量等 ・平成24年度調査区 6.63km² 	千円 実施 114, 594	単独事業及び補助事業を精査し減額
● 大連市友好交流伊万 里市訪問団派遣事業	1, 318	友好交流都市である中国大連市との交流を発展させるため、市民訪問団派遣事業を毎年恒例の交流事業として定着させ、伊万里市民の大連市に対する理解を深め、草の根交流の拡大をめざす。・報償費 54千円 ・旅費 856千円・委託料 408千円		旅費、委託料を精査し減額するとともに、使 用料を新たに増額
地域の元気推進事業	8, 233	地域の課題に対応した、住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町(地区)公民館を拠点に組織された「まちづくり運営協議会」に対し助成を行う。 〇地域の元気づくり交付金 ・地域の元気計画策定交付金 ・地域の元気計画策定交付金 ・地域の元気チャレンジ交付金 7,670千円 ・各町当たり(上限額) 550~750千円	実施 8, 190	旅費、需用費、使用料を精査し減額

事業名	要求額	要 求 事 業 の 概 要	決定状況(議会提案)	決定(議会提案)における論点、意見等
伊万里港ポートセールス推進事業 (●伊万里港コンテナ 貨物助成事業負担 金)	千円	平成25年4月には水深13m岸壁、ガントリークレーンの供用が開始され、伊万里港の機能も大幅に向上することから、伊万里港の利用拡大を図る好機と捉え、伊万里港を利用してコンテナを輸出する荷主に対する助成制度を港湾管理者である佐賀県とともに創設し、輸出入バランスの改善に取り組む。 ・事業主体 佐賀県伊万里港振興会・事業名 伊万里港コンテナ貨物助成事業・事業費 10,000千円/年・負担割合 県1/2 市1/2・助成内容 1コンテナ当り10千円※上限:1企業につき年間500千円	千円 実施 5,000	内容を精査し減額
次代を創る研修事業	762	分権型社会を担い、時代の変化に柔軟に対応できる人材を育成し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、一般財団法人電源地域振興センターの人材育成事業、全国市町村国際文化研修所の研修機関等を活用し、テーマごとの研修に市民と職員を派遣する。また、広く市民や団体向けの講演会を開催する。 ・派遣先 東京都、滋賀県(大津市)ほか・派遣人数 市民9人、職員2人・事業費 報償費 80千円 旅費 433千円 負担金等 249千円	実施	特になし

事業名	要求額	要 求 事 業 の 概 要	決定状況 (議会提案)	決定(議会提案)における論点、意見等
賦課徴収事業 (家屋の全棟実地調 査業務委託料)	千円 20,000	平成22年度から実施している家屋の全棟実地 調査(家屋評価)事業を最終年度として継続実施	千円 実施	特になし
戸籍電算化事業 (●戸籍副本データ 管理システム対応連 携業務等委託料)	2, 268	東日本大震災を教訓とし、国は、戸籍制度の混乱を回避するため、全国2か所に戸籍副本データ管理センターを設置し、すでに電算化された市町村の戸籍副本データを集中管理するシステムの稼働を平成25年9月末に開始する。そのため、国のシステムと本市の戸籍情報システムとの連携及び適応作業等を実施する。 ○戸籍副本データ管理システム関連委託料・対応連携業務委託料 1,522千円・対応連携ソフトウエア保守委託料 63千円・ネットワーク設定変更業務委託料 683千円	実施	特になし
◆参議院議員選挙	24, 021	○参議院議員選挙 ・任期満了日:平成25年7月28日	実施	特になし